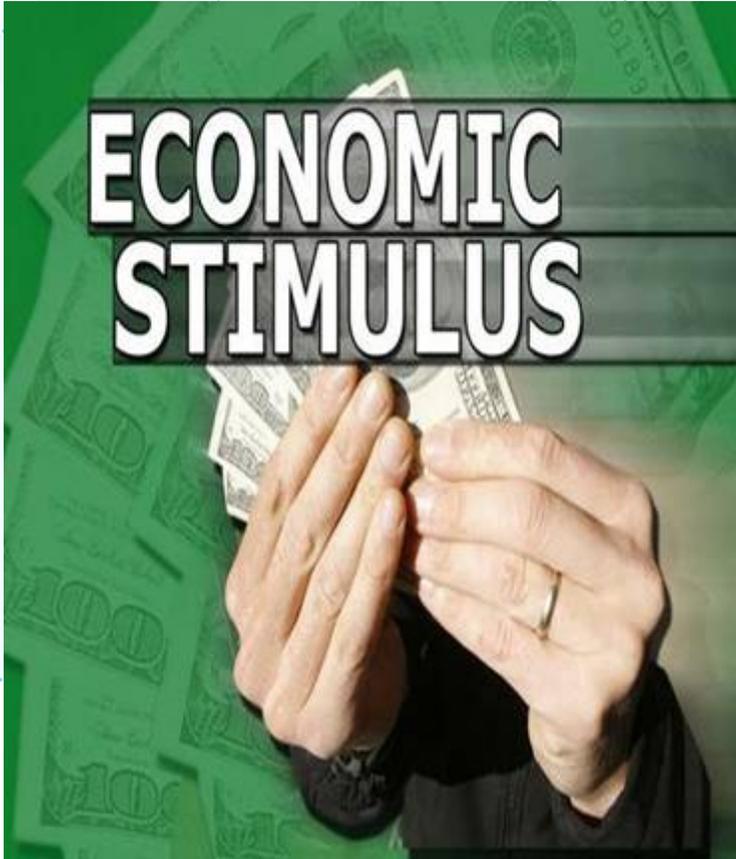


**世界同時金融危機下のASEAN 金融セクターの視  
点：金融セクターへの介入を通じた中小企業支援  
－アジアのケース**

ハンク・リム

シンガポール国際問題研究所  
研究部長

# 世界経済危機が中小企業に与える影響： 状況と対応



1. 世界金融・経済危機は中小企業セクターの銀行融資や運転資金の調達に重大な影響を与えている。
2. アジア各国の政府は、直接金融セクターに介入することで様々な形のサポートを提供している。
3. 融資保証、融資への利子補給、中小企業向け融資の目標設定などがそれらの施策に含まれる。

# 世界経済危機が中小企業に与える影響



4. しかしそれらの施策はほとんど効果がなく、金融セクターを強化することによって中小企業の資金ニーズを満たすと同時に金融を安定させるという長期目標に対しては逆効果となる可能性さえある。
5. このペーパーでは、過去の研究と1997年のアジア金融危機後に学んだ教訓を参考にして、金融セクターへの政府介入の役割とそれが中小企業に与える影響を検証する。

# 再建: 全体的アプローチ



6. 各国政府は金融セクター改革に関しより広範で長期的な計画を描き、現在採られている経済刺激策をそれに整合させることが重要となる
7. 中小企業向け融資のニーズの充足と安定を図るには、監督の強化と同時に、金融機関の取引技術などの能力強化を図る全体的アプローチが必要になる。

# 政府の介入



8. 情報ギャップ、調整と集団行動の必要性、権限の集中に由来する市場の失敗を是正するには政府の介入が必要になる。そのために、政府は中小企業セクター向け金融サービスの提供をサポートし、規制し、時には直接介入する広範な役割を担う。

# その他の要因



9. 全ての政府介入が例外なく効果を生むとは限らない。政府の施策が逆効果となることもある。環境に効果があるとされ、既に強固に根付いている施策が、他の分野では失敗をもたらしていることもある。
10. 一方、よく機能している金融システムはそれ自体が金融ガバナンスの強化に寄与することが多い。

# 政策改革: アクセス



11. アクセスの重要性を明確に認識した金融セクター政策改革へのアプローチを採用すれば、金融の発達とともに包括的な金融システムがもたらされる。
12. アクセス政策の優先順位付では、強い契約意識や情報インフラに支えられた極めて効率的な金融システムにおいてさえ限界があることを認識することが重要となる。特に発展途上国において、そのような認識が重要となる。

# 金融・政治改革



13. アクセスの開放や金融市場への一層の競争導入は、資金調達が制限された社会や経済環境でエリートが享受する利益を損なうのが普通であり、金融改革は通常、政治的な要素を含む。
14. 資金アクセス機会の拡大とそのため  
の制度構築には政界と経済界のエ  
リートの長期にわたるコミットが  
必須となる。しかし、包括的な資  
金調達手段が提供され維持されれ  
ば、全ての企業(大企業と中小企  
業)にとって大きな利益となる。

# シンガポールの SRI (I)

15. シンガポールの経験はまさにこの例にあたる。政府は自立可能な優良企業がデフォルトを起こさずに成長するために必要となる資金を調達できるようにする特別リスク・シェアリング (SRI) を導入した。政府は、それによって、引き受けるローン・リスクを引き上げ (50% から80%)、最長融資期間を延長した。



# シンガポールのSRI (II)



16. 13,000社を超える企業(その90%以上が中小企業)がこのスキームの恩恵を受けた。
17. 次のような様々な金融支援スキームが中小企業向けに提供された。
  - (a) マイクロ・ローン・プログラム
  - (b) ブリッジ・ローン・プログラム
  - (c) 国内企業ファイナンス・スキーム
  - (d) 融資保険スキーム

ご静聴ありがとうございます  
ございます!

質問/追加説明

ハンク・リム

シンガポール国際問題研究所

研究部長

[hank.lim@siaonline.org](mailto:hank.lim@siaonline.org)



SINGAPORE INSTITUTE OF INTERNATIONAL AFFAIRS